

男対男（1960）

メディア 映画

ジャンル サスペンス アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 90分

初公開日 1960/08/14

【解説】

「静かな脱獄者」の池田一郎と「拳銃を磨く男」の小川英によるオリジナル脚本を「国定忠治」の谷口千吉が監督したアクション映画。撮影は「羽織の大將」の西垣六郎、音楽は「大学の山賊たち」の佐藤勝が担当。加山雄三の映画デビュー作である。

中国大陸で射撃の腕を競い合った梶と菊森は、戦後それぞれ増江海運の作業班長とキャバレーの支配人として働いていた。増江海運では作業員が死亡する事故が発生するが、それは同社の乗っ取りをもくろむ神戸のヤクザの仕業だった。増江海運社長の一人息子はキャバレーの女給はるみに入れあげ、彼女に会社の株券を渡そうとするが、彼女は神戸ヤクザ鳥海の情婦だった。それを止めようとした社長の増江は、ヤクザの運転する車に当て逃げされ…。

【クレジット】

監督 谷口千吉

製作 田中友幸

脚本 池田一郎

小川英

撮影 西垣六郎

美術 村木与四郎

音楽 佐藤勝

出演 三船敏郎 Toshiro Mifune

池部良

加山雄三

北あけみ

星由里子

白川由美

志村喬

田崎潤

平田昭彦